

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|---------|-----------------|--|-----------------------------------|-----------------------|-------------------|
| 科 目 名 | トレーナー実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 前期 集中 | 教室名 | 402教室、ATルーム、各実習現場 |
| 担 当 教 員 | 井上 佳子 | 実務経験と その関連資格 | 塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) JSPO-AT取得後19年目、保健体育免許、健康運動実践指導者 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| スポーツ現場などでの実習を通じ、学習してきた内容の活用法を学び、アスレティックトレーナーとしての職業訓練とする。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 実習報告書およびカンファレンス 50% 2. プレゼンテーション 50% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 全巻 その他各種AT関連図書 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| アスレティックトレーナーとしてのスキル修得のみならず、選手および関連スタッフとの適切な関係作り、実習生同士の組織運営など、授業では学べない、トレーナーとしての支質を高めることを意識すること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキット など 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | | |
| 第2回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキット など 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | | |
| 第3回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキット など 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | | |
| 第4回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキット など 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | | |
| 第5回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキット など 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|---------------------------|-------------------|
| 第6回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第7回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第11回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第12回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第13回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第14回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |
| 第15回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務を理解し、実習準備や実習時間中に行うべきこと、また実習後に行うべき事柄について考察、実践する。 | トレーナーキットなど 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 見学実習 | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|--|-------------|---|--|--|-----------------------|-------------------|
| 科 目 名 | トレーナー実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 前期 集中 | 教室名 | 402教室、ATルーム、各実習現場 |
| 担 当 教 員 | 井上 佳子 | 実務経験と その関連資格 | 塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) JSPO-AT取得後19年目、保健体育免許、健康運動実践指導者 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| スポーツ現場などでの実習を通じ、学習してきた内容の活用法を学び、アスレティックトレーナーとしての職業訓練とする。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 実習報告書およびカンファレンス 50% 2. プレゼンテーション 50% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 全巻 その他各種AT関連図書 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第16回 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、メディカルチェックや傷害発生時、またリハビリテーションプログラム作成のために行うべき評価と、その結果を受けて問題解決のためのプログラム作成が可能になることに主題に置き実習する。 | | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 検査・測定と評価、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 | | | | |
| 第17回 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、メディカルチェックや傷害発生時、またリハビリテーションプログラム作成のために行うべき評価と、その結果を受けて問題解決のためのプログラム作成が可能になることに主題に置き実習する。 | | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 検査・測定と評価、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 | | | | |
| 第18回 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、メディカルチェックや傷害発生時、またリハビリテーションプログラム作成のために行うべき評価と、その結果を受けて問題解決のためのプログラム作成が可能になることに主題に置き実習する。 | | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 検査・測定と評価、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 | | | | |
| 第19回 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、メディカルチェックや傷害発生時、またリハビリテーションプログラム作成のために行うべき評価と、その結果を受けて問題解決のためのプログラム作成が可能になることに主題に置き実習する。 | | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 検査・測定と評価、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 | | | | |
| 第20回 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、メディカルチェックや傷害発生時、またリハビリテーションプログラム作成のために行うべき評価と、その結果を受けて問題解決のためのプログラム作成が可能になることに主題に置き実習する。 | | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 検査・測定と評価、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 | | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|---------|-----------------|--|--|-----------------------|-------------------|
| 科 目 名 | トレーナー実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 120 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 集中 | 教室名 | 402教室、ATルーム、各実習現場 |
| 担 当 教 員 | 井上 佳子 | 実務経験と その関連資格 | 塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) JSPO-AT取得後19年目、保健体育免許、健康運動実践指導者 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| スポーツ現場などでの実習を通じ、学習してきた内容の活用法を学び、アスレティックトレーナーとしての職業訓練とする。 また、カンファレンスを通じて問題点を解決し、学んだ事柄を守秘義務に反しない範囲で共有する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 実習報告書およびカンファレンス 50% 2. プレゼンテーション 50% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 全巻 その他各種AT関連図書 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| アスレティックトレーナーとしてのスキル修得のみならず、選手および関連スタッフとの適切な関係作り、実習生同士の組織運営など、授業では学べない、トレーナーとしての支質を高めることを意識すること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキット など 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | | |
| 第2回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキット など 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | | |
| 第3回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキット など 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | | |
| 第4回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキット など 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | | |
| 第5回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキット など 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|--|-------------------|
| 第6回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第7回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第11回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第12回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第13回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第14回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |
| 第15回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場でのトレーナー業務の中で、問題解決のために作成したプログラムの実践指導が可能になることに主題を置き実習する。 | トレーナーキットなど 評価やリハビリに必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスレティックリハビリテーション実習 | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|--|---------|-----------------|--|--|-----------------------|-------------------|
| 科目名 | トレーナー実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 120 (4) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 集中 | 教室名 | 402教室、ATルーム、各実習現場 |
| 担当教員 | 井上 佳子 | 実務経験と その関連資格 | 塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) JSPO-AT取得後19年目、保健体育免許、健康運動実践指導者 | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>スポーツ現場などでの実習を通じ、学習してきた内容の活用法を学び、アスレティックトレーナーとしての職業訓練とする。また、カンファレンスを通じて問題点を解決し、学んだ事柄を守秘義務に反しない範囲で共有する。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 実習報告書およびカンファレンス 50% 2. プレゼンテーション 50%</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 全巻 その他各種AT関連図書</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第16回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | | |
| 第17回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | | |
| 第18回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | | |
| 第19回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | | |
| 第20回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|------------------------------------|-------------------|
| 第21回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第22回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第23回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第24回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第25回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第26回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第27回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第28回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第29回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |
| 第30回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での基礎的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | スポーツ現場実習 | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|--|---------|-----------------|--|--|-----------------------|-------------------|
| 科目名 | トレーナー実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 120 (4) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 集中 | 教室名 | 402教室、ATルーム、各実習現場 |
| 担当教員 | 井上 佳子 | 実務経験と その関連資格 | 塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) JSPO-AT取得後19年目、保健体育免許、健康運動実践指導者 | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>スポーツ現場などでの実習を通じ、学習してきた内容の活用法を学び、アスレティックトレーナーとしての職業訓練とする。また、カンファレンスを通じて問題点を解決し、学んだ事柄を守秘義務に反しない範囲で共有する。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 実習報告書およびカンファレンス 50% 2. プレゼンテーション 50%</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 全巻 その他各種AT関連図書</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第31回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第32回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第33回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第34回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第35回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|------------------------------------|-------------------|
| 第36回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第37回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第38回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第39回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第40回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第41回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第42回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第43回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第44回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第45回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | スポーツ科学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|----------|---------------------|--|--|-----------------------|-------------------|
| 科目名 | トレーナー実習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 120 (4) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 集中 | 教室名 | 402教室、ATルーム、各実習現場 |
| 担当教員 | 井上 佳子 | 実務経験と その関連資格 | 塩野義製薬 女子ソフトボール部トレーナー(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) JSPO-AT取得後19年目、保健体育免許、健康運動実践指導者 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| スポーツ現場などでの実習を通じ、学習してきた内容の活用法を学び、アスレティックトレーナーとしての職業訓練とする。 また、カンファレンスを通じて問題点を解決し、学んだ事柄を守秘義務に反しない範囲で共有する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 実習報告書およびカンファレンス 50% 2. プレゼンテーション 50% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 全巻 その他各種AT関連図書 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 実習に対する準備、実習期間中の問題考察、実習後の報告準備など | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 46 回 | 実習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機 材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第 47 回 | 実習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機 材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第 48 回 | 実習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機 材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第 49 回 | 実習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機 材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 総合実習 | | | |
| 第 50 回 | 実習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機 材 各種教科書及び 参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 総合実習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|------------------------------------|-------------------|
| 第51回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第52回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第53回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第54回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第55回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第56回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第57回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第58回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第59回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |
| 第60回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | スポーツ現場での総合的なトレーナー業務を、スーパーバイザーの指示の元で行えることを目的とする。 | トレーナー業務 遂行に必要な機材 各種教科書及び参考図書 | 実習前学習 実習報告書作成 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合実習 | | |